

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 弥富市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 平成29年度地域公共交通確保維持改善計画(地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統関係)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名 等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運 行(航)区間、整備内容等を記 載(陸上交通に係る確保維持 事業において、車両減価償却 費等及び公有民営方式車両購 入費に係る国庫補助金の交付 を受けている場合、離島航路に 係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検 討の経費を除く。)を受けている 場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間に おいて、前回の事業評価結果 をどのように生活交通確保維 持改善計画に反映させた上で 事業を実施したかを記載】	A ・ B ・ C 評 価	【計画に基づく事業が適切 に実施されたかを記載。計 画どおり実施されなかった 場合には、理由等記載】	【計画に位置付けられた定 量的な目標・効果が達成さ れたかを、目標ごとに記載。 目標・効果が達成できな かった場合には、理由等を 分析の上記載】 ※なお、当該年度で事業が完 了した場合はその旨記載
三重交通(株)	弥富市内を巡回する3路線(北 部ルート、東部ルート、南部 ルート)を運行し、各ルートとも 近鉄弥富駅やイオンタウン、総 合福祉センター等の主要な施 設にアクセス。また、東部ルー トは飛島公共交通バス蟹江線 と一部バス停を共有。	<u>ダイヤ改正を実施</u> →H28.12.1より海南病院への 乗り入れ、蟹江警察署へのバ ス停新設、飛島公共交通バス 蟹江線との乗り継ぎ改善 <u>ニーズに即した運行改善の検 討</u> →東部ルートが運行する十四 山地区住民を対象に、きんちゃ んバスの利用状況やよく利用 する施設等を把握するととも に、望まれる運行ルートにつ いて把握 <u>新規利用者の発掘</u> →無料お試し乗車券の利用に よる新規利用者72名 <u>情報提供等周知活動の実施</u> →十四山地区住民アンケート や利用者アンケート案内文にき んちゃんバスの情報等を掲載 →イベントの場を活用した周知 活動を実施 等	A 計画通り、弥富市内を巡回 する3路線を運行するととも に、モニタリング調査(利用 者アンケート)や利用実態 調査(利用者数(毎日)、OD (1週間))等を実施し、でき る限り利用実態やニーズの 把握に努めた。また、協議 会を計4回開催するととも に、無料お試し乗車券の配 布による新規利用の発掘、 広報誌やHP、イベントの場 等を活用した情報提供に努 めており、適切に実施して いる。	A 【満足度の向上】 ・モニタリング調査(利用者 アンケート)による満足度の 前年度からの向上を目標と し、満足度が上昇 ⇒51.2%→60.0% (「非常に 満足」「やや満足」の割合) A 【1便当たり乗車人員数の 増加】 ・1便当たり乗車人員数の 前年度からの増加を目標と し、全ルートで増加 A ⇒北部ルート:7.9人/便→ 8.8人/便 A ⇒南部ルート:8.5人/便→ 9.0人/便 A ⇒東部ルート:8.1人/便→ 9.1人/便	<u>東部ルートの運行改善実施</u> →最も利用者の少ない東部 ルートについて、利用者の要望 や住民の意向、十四山総合福 祉センターや弥富市役所等中 心部への利用が多いなどの利 用特性を踏まえ、運行便数を 増加させるための運行ルートを 改善し、あわせて飛島公共交 通バス蟹江線とのさらなる乗り 継ぎ改善を図り、利便性向上に よる利用促進を図る 等 <u>継続的な利用促進活動の推進</u> →一部利用促進策の認知度が 低いため、市HPや広報等多様 な媒体を活用した継続的な周 知など利用促進活動を推進す る

(別添1-2)

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	弥富市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	平成29年度地域公共交通確保維持改善計画(地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統関係)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	市民生活と地域を支える持続可能な地域公共交通の確保・維持 (利用者実態調査等の結果より、利用者総数は少ないものの「利用者の約8割が65歳以上の高齢者で、買い物や通院、公共施設の利用目的の利用が多い」という特徴を把握することができ、高齢者等交通弱者の交通手段確保の必要性が明らかにされた。また、「弥富市地域公共交通網形成計画」に基づき、今後も市内バス運行の改善・充実のため、利用者実態調査やモニタリング調査を実施し、ニーズに即したダイヤの見直し、隣接する自治体との連携等の検討を行い、あわせて地域公共交通確保維持事業により、市民生活と地域を支える持続可能な地域内フィーダー系統としてのコミュニティバスを確保・維持していくことが必要である。)

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

弥富市地域公共交通活性化協議会

平成21年7月10日設置

フィーダー系統 平成28年6月29日 確保維持計画策定

地域の特性と背景

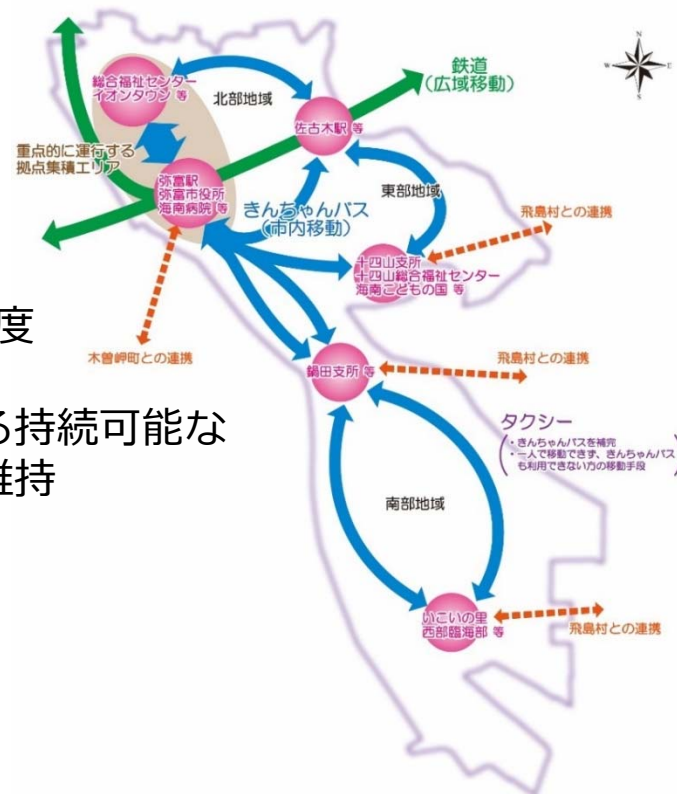
- 平成22年3月に「弥富市地域公共交通総合連携計画」策定、平成28年3月に「弥富市地域公共交通網形成計画」策定
- バス利用者の約6割が75歳以上、65歳以上を含めると約8割が高齢者で、買い物や通院、公共施設の利用目的が多い。（75歳以上には無料パスカードを全員に配布）

総合計画・都市マスにおける公共交通（バス）の位置づけ

- 市民の日々の暮らしにおける移動手段としての利便性向上、地球温暖化の抑制に向けたCO2の削減、高齢者等の外出機会の支援

弥富市地域公共交通網形成計画

- 計画期間
平成28年度～平成32年度
- 基本方針
市民生活と地域を支える持続可能な地域公共交通の確保・維持



現在の地域公共交通網



目標 1：1 便当たり平均乗車人員の維持・増加

○将来的な人口の減少が予測されている中、使いやすく効率的で、持続可能な地域公共交通へと発展し続けるためには利用者の確保が必要

⇒現在の1便あたり平均乗車人員の状況を最低限維持するとともに、継続的な改善と利用促進策の展開により、できる限り増加を目指す

⇒増便や減便など運行改善を実施した場合には、必要に応じ目標値を見直し

目標 2：利用者満足度の向上

○現在の利用の中心となっているのは高齢者であるが、買い物や通院、通勤・通学に利用されるなど、多様な方が利用しルートによっても利用特性が異なる。誰もが使いやすい地域公共交通であるためには、これら利用特性や地域特性に応じた的確で継続的な改善が必要

⇒継続的な改善を総合的に評価する指標として利用者の満足度を把握し、その向上を図る

指 標		現況（基準年） 平成 27 年度※ ¹	目標年 平成 32 年度※ ¹
1 便当たり 平均乗車人員※ ²	全ルート	8.1 人/便	9.8 人/便
	北部ルート	7.4 人/便	11.8 人/便
	南部ルート※ ³	8.7 人/便	8.7 人/便
	東部ルート	7.6 人/便	9.5 人/便
利用者満足度※ ⁴		49.1%	50.0%

※1：年度は4月～翌年3月を1年度とする

※2：利用者実態調査により毎年評価

※3：減少傾向のため現状維持を目標としている

※4：モニタリング調査（利用者アンケート）により毎年評価

主な取り組み内容

○海南病院改築及び蟹江警察署移転等に伴うダイヤ改正の実施（実施主体：市、交通事業者）

⇒海南病院への乗り入れ、蟹江警察署移転に伴う運行ルートを変更し、あわせて東部ルートと飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎ利便性を考慮したダイヤ調整を実施（平成28年12月1日ダイヤ改正）

○ニーズに即した運行改善の検討（実施主体：市、市民、交通事業者）

⇒東部ルートについて、利用実態調査や十四山地区住民アンケート、利用者アンケート、OD調査の各種調査結果も踏まえ、ニーズに即した運行改善を検討中

○情報提供等周知活動の実施（実施主体：市）

⇒十四山地区住民アンケート案内文に東部ルートの現状等の情報を掲載したほか、利用者アンケート案内文にシルバーパスやサイクル&バスライド駐輪場情報を掲載

⇒広報誌への情報掲載、健康フェスタ（H28.10.23）や、やとみ春まつり（H29.4.1～4.2）等のイベントの場を活用した情報提供等の周知活動を実施

○無料お試し乗車券による新規利用者の掘り起し（実施主体：市、交通事業者）

⇒市内全世帯及び小学生に配布し、利用期間は親子での継続的な利用機会の創出を図るために夏休み期間に設定（新規利用者72名でうち約3割が小学生。約9割に今後の利用意向）

計画に基づく各種調査結果の概要

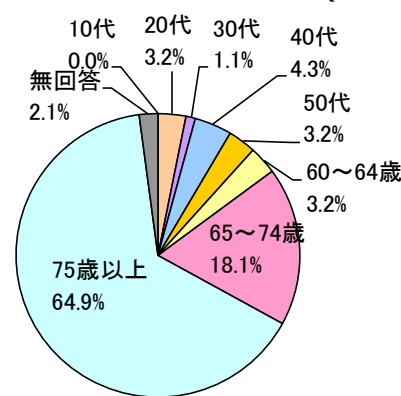
○全ルートで利用者増

乗車人員 (人)	H28年度 H27.10～H28.9	H29年度 H28.10～H29.9	H28からH29 への増減	
全体	72,628	78,494	+5,866	+8.1%
北部ルート	25,602	28,240	+2,638	+10.3%
南部ルート	35,493	37,334	+1,841	+5.2%
東部ルート	11,533	12,920	+1,387	+12.0%

1便あたり 平均乗車人員 (人/便)	H28年度 H27.10～H28.9	H29年度 H28.10～H29.9	H28からH29 への増減	
全体	8.2	8.9	+0.7	+8.3%
北部ルート	7.9	8.8	+0.8	+10.7%
南部ルート	8.5	9.0	+0.5	+5.3%
東部ルート	8.1	9.1	+1.0	+12.3%

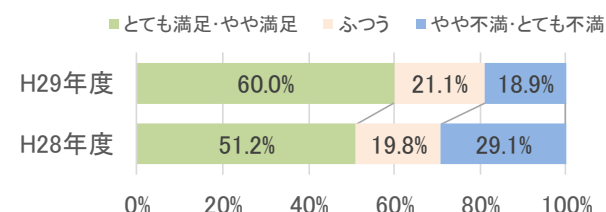
○65歳以上約8割

⇒ 75歳以上約6割(無料利用)



○満足増加、不満足減少

⇒運行本数への不満



弥富市地域公共交通活性化協議会（実施主体：市、市民、交通事業者）**平成29年度事業**

- 平成28年度 第2回（H28.10.26）・運行ルート・ダイヤ改正案・各種調査結果・十四山地区住民アンケート案 等
- 平成28年度 第3回（H28.12.20）・平成28年度事業事後（自己）評価 等
～ダイヤ改正（H28.12.1）～
- 平成28年度 第4回（H29.3.16）・十四山地区住民アンケート結果 等
- 平成29年度 第1回（H29.6.29）・平成30年度確保維持改善計画案・各種調査内容 等

平成30年度事業

- 平成29年度 第2回（H29.12.1予定）・平成29年度事業事後（自己）評価 等

事業実施の適切性の評価

- 協議会の開催、無料お試し乗車券、周知活用を計画通り実施
- モニタリング調査（利用者アンケート）や利用実態調査（利用者数（毎日）、OD（1週間））等各種調査を計画通り実施

目標・効果達成状況の評価**○生活交通確保維持改善計画**における目標は達成

指 標		平成 28 年度※ ¹ H27.10~H28.9	平成 29 年度※ ¹ H28.10~H29.9
1 便当たり 平均乗車人員	全ルート	8.2 人/便	8.9 人/便
	北部ルート	7.9 人/便	8.8 人/便
	南部ルート	8.5 人/便	9.0 人/便
	東部ルート	8.1 人/便	9.1 人/便
利用者満足度		51.2%	60.0%

※1：確保維持改善計画における年度は10月～翌年9月を1年度

○地域公共交通網形成計画における目標は、

- ・南部ルートは現状を維持
- ・その他のルートはこの増加傾向を維持できれば平成32年度の目標を達成可能

指 標		現況 平成 29 年度※ ¹ H29.4~9	目標年 平成 32 年度※ ¹
1 便当たり 平均乗車人員	全ルート	9.1 人/便	9.8 人/便
	北部ルート	9.1 人/便	11.8 人/便
	南部ルート※ ²	8.9 人/便	8.7 人/便
	東部ルート	9.4 人/便	9.5 人/便
利用者満足度		60.0%	50.0%

※1：網形成計画における年度は4月～翌年3月を1年度

※2：減少傾向のため現状維持を目標としている

東部ルート^①の運行改善実施

○最も利用者の少ない東部ルートについて、利用者の要望や住民の意向、十四山総合福祉センターや弥富市役所等中心部への利用が多いなどの利用特性を踏まえ、運行便数を増加させるために運行ルートを改善し、あわせて飛島公共交通バス蟹江線とのさらなる乗り継ぎ改善を図り、利便性向上による利用促進を図る

⇒運行改善（ダイヤ改正）の目標：平成30年10月

【現行ルート】

右回り左回りの循環運行【平日】5便/日【土曜日】4便/日

【見直しルート案】

上り下りのピストン運行【平日】7便/日【土曜日】6便/日



継続的な利用促進活動の推進

○一部利用促進策の認知度が低いため、市HPや広報等多様な媒体を活用した継続的な周知など利用促進活動を推進することが必要

⇒時刻表に回数券や定期券、シルバーパスなどの料金負担軽減策のほか、サイクル&バスライド駐輪場に関する情報、鉄道（近鉄）や蟹江線との乗り継ぎダイヤ等の情報を掲載

⇒アンケート調査や広報、HP、健康フェスタ等のイベントなどの住民との接点を活用し、きんちゃんバスの情報やかしいクルマの使い方の情報を提供

⇒無料お試し乗車券の配布による継続的な新規需要の掘り起しの継続の実施

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

弥富市地域公共交通活性化協議会

平成21年7月10日設置

フィーダー系統 平成28年6月29日 確保維持計画策定

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果 (平成27年度)	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
平成25年10月のダイヤ改正後にアンケート調査を兼ねた「バス停乗降者数調査」及び「無料お試し乗車券の配布」などに取り組み、減便に伴う影響や乗り継ぎ状況の把握、新規利用者の開拓に努められていることについて、評価します。	- 今年度も利用実態調査やバス停乗降者数調査（OD）、モニタリング調査（利用者アンケート調査）等の各種調査を実施 - 無料お試し乗車券の配布は、今年度で第7回を迎えており、一定の新規利用者の開拓に貢献 - イベント等の場を活用した周知活動として、子どもをターゲットにした取り組みを実施	弥富市地域公共交通網形成計画に即し、事業や調査を今後も継続的に実施
現在、各課題に対応すべく「地域公共交通網形成計画」を策定しているとのことですので、計画の中の評価の仕組みを検討するとともに、計画策定後は、地域の観光資源の発掘や、更なる交通サービスの充実及び利用促進が図られることを期待します。	「弥富市地域公共交通網形成計画」にも位置づけている東部ルート of 運行改善について、十四山地区住民を対象とした運行改善に関するアンケート調査を実施し、現在検討中	東部ルートの運行改善については、協議会における議論だけでなく、パブリックコメントも実施し、広く住民意見を募った上で実施する予定（ダイヤ改正の目標：平成30年10月）

イベントを活用した周知活動の実施

○市内で開催された健康フェスタ（H28.10.23）ややとみ春まつり（H29.4.1～4.2）において、子どもをターゲットにしたバス乗車体験や制服試着体験、運転席での記念撮影会、啓発品の配布を実施するとともに、きんちゃんバス等の情報をまとめたポスター展示等実施



きんちゃんバス これまでの運行の経緯

H21.7	「東田山地区公民館活性化協議会」発足
H22.3	「市内11番地区公民館活性化協議会」発足
H22.6.21	無料巡回バス開始。『きんちゃんバス』運行開始 ★3系統で巡回（北野・寺前・大井ルート） ★毎日運行。★ダイヤ変更、路線の再編 ★乗客が70名以上は好評
H23.4.1	巡回バス・ダイヤ変更 ★本末地区追加。★バス停の増設 ★市内の各所から利用の少ない民の町まで ★本末・新田・大井・寺前・大井・大井・大井 ★大井・大井・大井・大井・大井・大井 ★大井・大井・大井・大井・大井・大井 ★大井・大井・大井・大井・大井・大井
H24.4.1	巡回バス・ダイヤ変更 ★本末地区追加。★バス停の増設 ★市内の各所から利用の少ない民の町まで ★本末・新田・大井・寺前・大井・大井・大井 ★大井・大井・大井・大井・大井・大井 ★大井・大井・大井・大井・大井・大井
H25.10.1	巡回バス・ダイヤ変更 ★本末地区追加。★バス停の増設 ★市内の各所から利用の少ない民の町まで ★本末・新田・大井・寺前・大井・大井・大井 ★大井・大井・大井・大井・大井・大井 ★大井・大井・大井・大井・大井・大井
H26.3	巡回バス・ダイヤ変更 ★本末地区追加。★バス停の増設 ★市内の各所から利用の少ない民の町まで ★本末・新田・大井・寺前・大井・大井・大井 ★大井・大井・大井・大井・大井・大井 ★大井・大井・大井・大井・大井・大井
H28.12.1	巡回バス・ダイヤ変更 ★本末地区追加。★バス停の増設 ★市内の各所から利用の少ない民の町まで ★本末・新田・大井・寺前・大井・大井・大井 ★大井・大井・大井・大井・大井・大井 ★大井・大井・大井・大井・大井・大井

きんちゃんバス なんで必要なの？

地域の足として必要です！

自動車は便利で、快適な乗り物です。しかし、自分の将来、自動車を運転できなくなった時のことを想像してみてください・・・その時、みなさんの足として気軽に乗れるきんちゃんバスがあると助かりますよね！

自分たちが乗らなかったらどうなるの？

どんなに要望が多くても、乗る人が少なくて運行を維持していくことはできません！



行政だけではなく、地域のみなさんと一緒に、
どうすればより快適で使いやすいになるのかを考え、
きんちゃんバスをみんなで育てていこう！



お得な制度もあります！ ぜひ活用してみてください♪

■回数券 2回分もお得！

大人	12枚	2,000円
小学生から高校生 障がい者（手帳保持者）	12枚	1,000円

■定期乗車券 通勤・通学にも使える！

大人	1ヶ月	6,000円
	3ヶ月	17,100円
	6ヶ月	32,400円
小学生から高校生 障がい者（手帳保持者）	1ヶ月	3,000円
	3ヶ月	8,600円
	6ヶ月	16,200円

■シルバーバス 65歳以上もお得！

考えてみませんか？ バス・鉄道のよいところ

バス・鉄道などの公共交通は 健康にいい！！

1時間クルマで移動する代わりにバス・電車を利用すれば、それだけで、消費カロリーは2倍以上ですよ！



バス・鉄道などの公共交通は 環境に優しい！！

